

情報連絡員総括表（2020年9月）

－ 静岡県中小企業団体中央会 －

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

◎売上高等の9項目につき **前年同月と比較し**、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI \text{ 値} = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0(=横ばい)で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 （回答者数 60 名：回収率 100%）

- 2020年9月のDI値は、前月との比較において「販売価格」「資金繰り」を除く7指標が改善する結果となった。5月の落ち込みと比較して徐々に回復してきており、「売上高」「収益状況」「業界の景況」の主要3指標も新型コロナウイルスの影響が出始める前の数値に戻りつつある。
- 「製造業」では、前月との比較において、「販売価格」が悪化、「資金繰り」「雇用人員」が横ばい、それ以外の主要3指標を含めた6指標が改善する結果となった。
自動車関連の売上げが回復傾向にある一方で、中小規模下請企業の先行きが不安視されており、中小下請け企業が事業継続するための支援が求められている。
また、織物業からは新型コロナウイルスの影響で受注が激減していることから、**県外への積極的な営業活動に向けた資金的な支援**を求める声が寄せられている。
- 「非製造業」では、前月との比較において、「売上高」「販売価格」「資金繰り」が悪化、それ以外の5指標が改善する結果となった。
宿泊業からは「他客との接触を避ける」という観点からか、食事が部屋でとれる・露天風呂付客室など、比較的高単価の施設が売上げを伸ばしており、宿泊施設により格差が生じている」とのコメントが寄せられている。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2020年9月	-58.4	-18.6	-23.3	-13.3	-56.7	-43.3	-46.7	-21.7	-56.7
2020年8月	-60.0	-4.7	-11.7	-21.6	-66.7	-41.7	-53.4	-25.0	-71.7
増減	1.6 ↑	-13.9 ↑	-11.6 ↓	8.3 ↑	10.0 ↑	-1.6 ↓	6.7 ↑	3.3 ↑	15.0 ↑

2. 項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体					
		DI値		増減		DI値		増減		DI値		増減			
売上高	2020年9月	-60.0	6.7ポイント	↑	-56.7	-3.4ポイント	↓	-58.4	1.6ポイント	↑	2020年8月	-66.7	-53.3	-60.0	
	2020年9月	-6.6			-46.2			-18.6			2020年8月	6.7	-30.8	-4.7	-13.9ポイント
在庫数量	2020年9月	-16.7	-6.7ポイント	↓	-30.0	-16.7ポイント	↓	-23.3	-11.6ポイント	↓	2020年8月	-10.0	-13.3	-11.7	
	2020年9月	-20.0			-6.7			13.3ポイント			↑	-13.3	8.3ポイント	↑	
取引条件	2020年9月	-56.7	16.6ポイント	↑	-56.7	3.3ポイント	↑	-56.7	10.0ポイント	↑	2020年8月	-73.3	-60.0	-66.7	
	2020年9月	-50.0			-36.7			-43.3			2020年8月	-50.0	-33.4	-41.7	-1.6ポイント
資金繰り	2020年9月	-46.7	6.7ポイント	↑					-46.7	6.7ポイント	↑	2020年8月	-53.4	-53.4	-53.4
	2020年9月	-26.7							-16.7			-21.7	2020年8月	-26.7	-23.3
雇用人員	2020年9月	-63.3	16.7ポイント	↑	-50.0	13.3ポイント	↑	-56.7	15.0ポイント	↑	2020年8月	-80.0	-63.3	-71.7	
	2020年9月	-63.3			-50.0			-56.7			2020年8月	-80.0	-63.3	-71.7	

今月の業種別回答件数

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況									
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化								
製造業	食料品	0	3	0	2	0	0	0	0	0	2	0	2	0	1	0	2	0	2								
	繊維工業	0	3	2	1	0	0	0	1	0	3	0	2	0	2	0	1	0	3								
	木材・木製品	1	4	1	2	0	2	1	0	1	4	0	3	0	2	0	3	0	4								
	紙・紙加工品	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
	印刷	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1								
	窯業・土石製品	0	3	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0	3	0	1	0	3								
	鉄鋼・金属工業	0	2	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2	0	0	0	2								
	一般機器	0	4	1	0	0	0	0	2	0	4	0	4	0	4	0	1	0	4								
	電気機器	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0								
	輸送用機器	2	2	1	1	0	1	0	2	2	2	1	2	2	1	1	0	3	2								
その他	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1									
非製造業	卸売業	0	2	0	1	0	1	0	1	0	2	0	2					0	0	0	2						
	小売業	0	5	0	3	0	2	0	2	0	5	0	5					0	2	0	5	0	5				
	商店街	0	5	0	2	0	3	0	0	0	5	0	2					0	0	0	4	0	4				
	サービス業	2	1					1	1	1	0	1	1					1	0	0	0	1	2				
	建設業	1	3					0	3	1	1	0	3					0	2	1	2	0	2	1	2	0	2
	運輸業	0	4					2	2	1	1	0	2					0	1	0	2	0	2	0	2	1	2

3.情報連絡員からの報告

製造業

水産食料品	<ul style="list-style-type: none"> 観光客数が戻りつつはあるが、新型コロナウイルスの影響がまだまだ残っている状況で以前ほどの多さではない。 新型コロナウイルスの影響による売上減少から未だに脱却出来ておらず、生産調整も継続している状況にある。そろそろ年末商材の生産による増産をしたいところだが、今の状況下では在庫を抱えるリスクを取る訳にはいかず、動きたくても動けない状況に変わりはない。
製茶業	<ul style="list-style-type: none"> 「巣ごもり」の影響で家庭で消費する煎茶の販売は若干伸びたが、葬儀の返礼品やオフィス向けの需要が減少し、厳しい状態が続いている。
織物業	<ul style="list-style-type: none"> 例年9月頃は生産活動が活発化する時期だが、新型コロナウイルスの影響で今年は例年のような動きが見られない。一部順調に受注する工場もあるが、全体的に生産活動は停滞している。 1年間で最も生産活動が活発化する時期にこの停滞した状態では、先行きに大きな不安を感じる。 東京などの県外へ出向き受注へ向けての積極的な活動への取り組みを行うための資金的な支援が必要。 来年度の浴衣生地の新規受注は現状では無い状況。綿紬、正絹紬、麻、等の少ロット生産が現在主流となっている。 全体では、売上高対前年比60%程度で推移しており先行きが不透明。
宗教用具	<ul style="list-style-type: none"> 今月の売上げが対前年比97.5%になったのは、8月の生産部分が9月へスライドした為であり、決して回復したということではなく依然変わらず厳しい状況。
製材業、木製品	<ul style="list-style-type: none"> 立木伐採を制限している関係で原木の入荷が少なく、原材料不足で製材の操業に影響している。
パルプ・紙・紙加工品	<ul style="list-style-type: none"> 経済活動再開によりチラシやパンフレットが増加し荷動きが見られたが、新型コロナウイルス感染の再拡大もあり需要回復が遅れている。 リモートワークによりオフィス需要は低調推移である。
印刷・同関連業	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス第2波により大幅な売上げ減少が続いている。競争入札案件は更に価格競争が激化し、採算の合わない価格となっている。 内製化の推進により外注依頼作業が減少している。
セメント・同製品	<ul style="list-style-type: none"> 売上高対前年比75%。新型コロナウイルスか少子化の影響なのかわからないが、一般住宅の落ち込みが大きい。企業も設備投資を控え、計画を控えている。
金属製品	<ul style="list-style-type: none"> 先月同様、売上高は前年比60%減であるが、自動車関係に改善の兆しがあり、今後の回復に期待したい。 業種によっては若干上向き加減になってきた所もあるが依然として低迷している業種も多い。試作等非量産品を扱っている業者は低迷している。
生産用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> 仕事量減少による競争の激化で、価格を下げざるを得ない状況になってきているにもかかわらず、以前と変わらず仕事をしてしまっていることがかなり問題。 自動車部品業界の持ち直し気運から、機械設備業界への波及効果を期待するが、年度内の浮上には厳しいものがある。
電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> 今夏の冷蔵庫と家庭用空調機の販売は猛暑と巣ごもり生活の定着などにより好調に推移したことを受けて、下期も好調な販売の継続が期待されている。 販売好調を受けて今月の冷蔵庫と家庭用空調機の生産は昨年以上の実績となった。 業務用空調機は学校空調需要の一巡などにより減少したが、一部の海外需要の回復もあり今後期待している。
輸送用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> 自動車関連企業の売上げは、底からの回復傾向が見られるが小規模下請け組合員企業がどこまで回復できるのか、先行きの見通しができない。中小下請け企業の事業継続に係る更なる支援拡充を求める。 前年同月の状況が悪かった為「好転」と評価したが、新型コロナウイルスの影響は不安要素が多く今後の見通しを立てるのは難しい状況にある。ただ、今年の4月～6月と比較すれば生産量が増え忙しい状況になっており、このまま回復していくことを期待する。 当地域各企業の操業は続いているが、相変わらず新型コロナウイルス抑制の目処が立たないため不安がある。 先月同様に新規受注が殆ど無い状況が続いている。

非製造業

セメント卸売業	<ul style="list-style-type: none"> 9月出荷高は前年同月比12.8%減となり、2ヶ月振りに前年実績を下回った。袋セメント需要の低迷により事業環境の先行きは不透明である。
各種商品卸売業	<ul style="list-style-type: none"> 地場の食品卸業において経営の悪化が目立つ。数年連続赤字決算となっている組合員が数社あり、収支改善がなかなか進まない。
鮮魚小売業	<ul style="list-style-type: none"> 消費者の新型コロナウイルス感染への警戒感が消えず、まだ景況の回復は見通せない。新しい生活スタイルに対応した販売スタイルを確立する必要性を感じる。
各種商品小売業	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス第2波の影響か店頭販売での売上げが減少している。 市の消費喚起事業により、多少売上げが戻ったがまだまだ厳しい状態が続いている。 昨年度は消費税増税前の駆け込み需要があったが、今年は新型コロナウイルスと猛暑の影響で衣料品の販売が低迷している。 食品以外の業種は依然苦戦しているが、一時に比べれば少しずつではあるが戻ってきている。
不動産取引業	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響で、様子見だった客層がかなり積極的に動き始めた感が有る。今後の不動産市況を踏まえ、所有者が価格の改定に応じる事が多くなったことも成約が増えた要因と考えられる。
宿泊業	<ul style="list-style-type: none"> 昨年9月は台風15号の影響により、宿泊キャンセルが数多く発生し大変厳しい状況であったが、今年は台風の影響も無く、特に9月19日からの4連休は全体的に稼働率がよかった。また、GOTOキャンペーンも浸透し宿泊予約が伸びてきた。GOTOキャンペーンの割引により、宿泊単価は上昇しているがインバウンドが戻らないため、客数ベースでは減少している。 新型コロナウイルス感染防止の観点からと思われるが、宿泊施設の形態によって宿泊予約に格差が生じており、他のお客様とできる限り接触しないよう、食事が部屋食で露天風呂付き客室などの高単価の宿泊施設が好調である。 景況感としては少しずつ上向いている感があるが、事業所によってかなりの格差があり、全体的にはまだまだ厳しい状況である。今後10月1日からのGOTOキャンペーン東京追加による効果が期待される。
職別工事業	<ul style="list-style-type: none"> 県内情勢に関しては、概ね穏やかで大きな変化は見られないものの、徐々に新規着工件数の減少と、先行きの案件が見えない不安要素がある。都市部（特に関東圏）の受注減が徐々に影響が出てくる恐れがあり、予断を許さない状況。 外国人実習生を新規で受け入れることができていない状況の中で、今後の労務にも影響が出ると予測する。
道路貨物運送業	<ul style="list-style-type: none"> 荷物情報は相変わらず低調基調が続いているが、月末にかけ半期決算のため在庫を処理する動きも見られ、少しずつではあるが荷物情報が増加している。 冬期の新型コロナウイルスの状況が予測できない。前年よりも売上げは減少しているが、回復傾向に向かいつつある。
道路旅客運送業	<ul style="list-style-type: none"> 対前年比運送収入は、緊急事態宣言時のマイナス65%から回復傾向を見せ、7月にはマイナス35%まで戻ったものの、8月は10ポイント下がりマイナス45%に悪化。要因としては、クラスターの発生や、テレワーク・出張の見合わせなどによる日中のビジネス需要の低迷、それに合わせるように夜の繁華街の客足も落ち込んでいることが考えられる。「新しい生活様式」の中で、どこまで需要が回復するかを見定める必要がある。

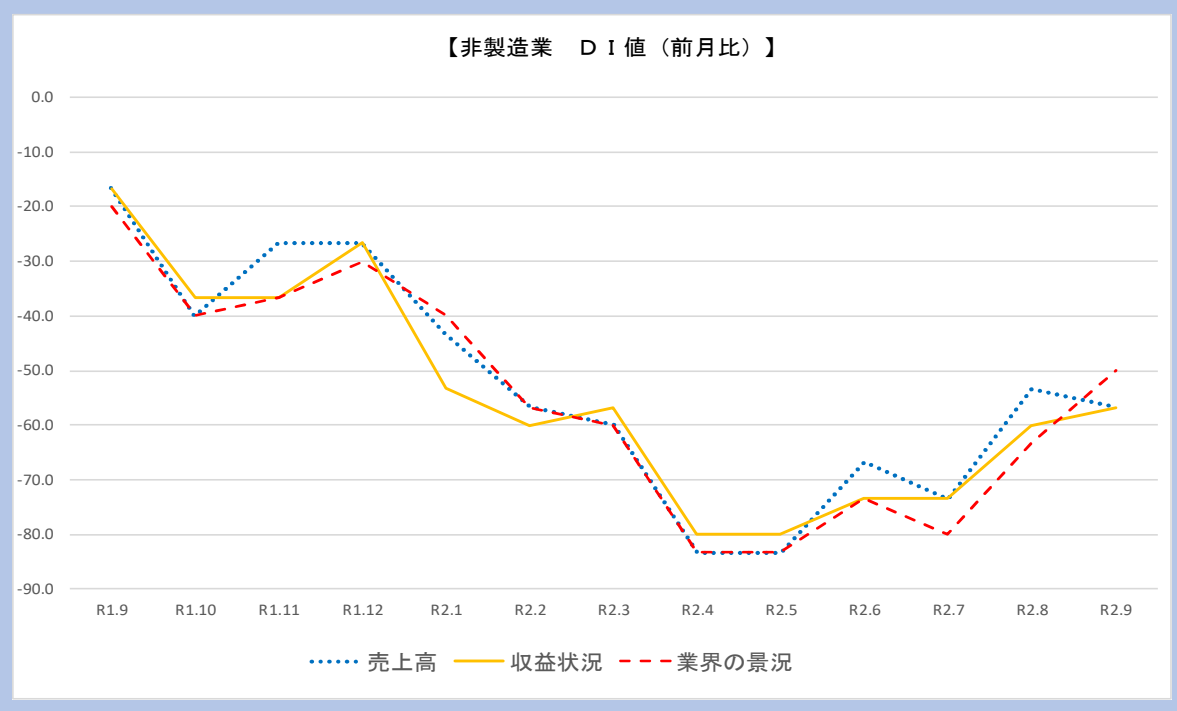
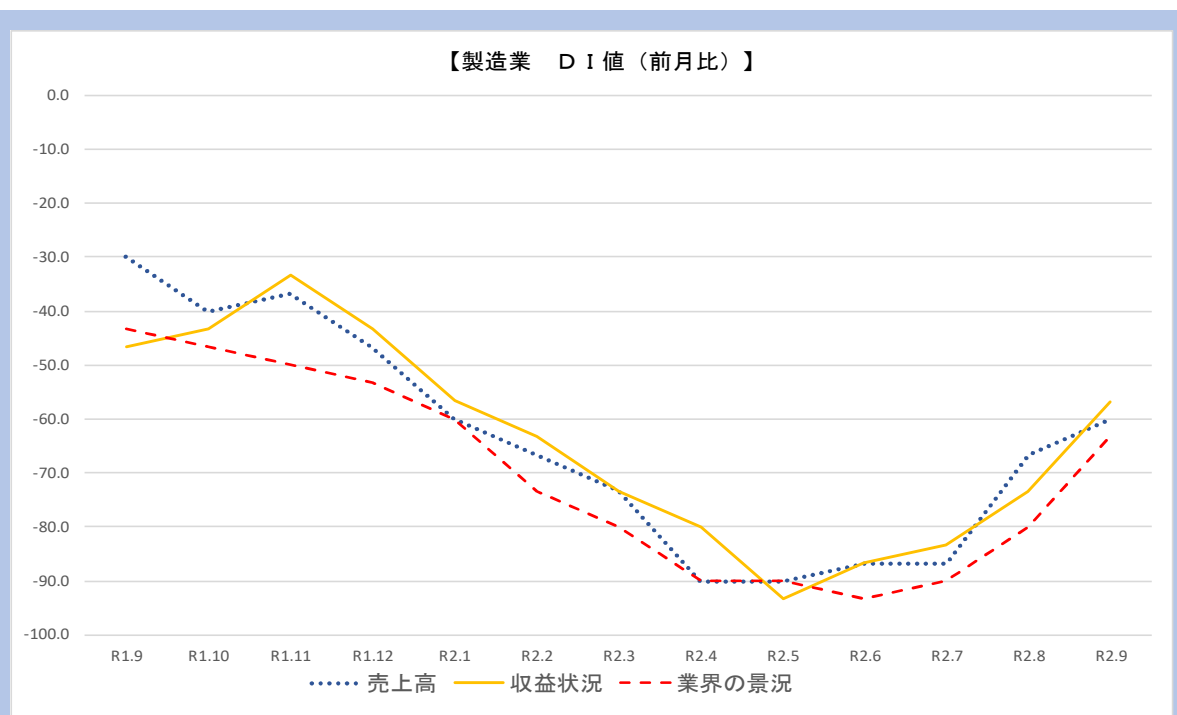
4. 主要三指標における DI 値の推移

■ 2019年9月期～2020年9月期までの推移

全体	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9
売上高	-23.3	-40.0	-31.6	-36.7	-51.7	-61.7	-66.7	-86.6	-86.7	-76.7	-80.0	-60.0	-58.4
収益状況	-31.6	-40.0	-35.0	-35.0	-55.0	-61.7	-65.0	-80.0	-86.7	-80.0	-78.3	-66.7	-56.7
業界の景況	-31.6	-43.3	-43.4	-41.6	-50.0	-65.0	-70.0	-86.7	-86.7	-83.3	-85.0	-7.7	-56.7

製造業	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9
売上高	-30.0	-40.0	-36.7	-46.7	-60.0	-66.7	-73.3	-90.0	-90.0	-86.7	-86.7	-66.7	-60.0
収益状況	-46.7	-43.3	-33.3	-43.4	-56.6	-63.3	-73.3	-80.0	-93.3	-86.7	-83.4	-73.3	-56.7
業界の景況	-43.4	-46.7	-50.0	-53.3	-60.0	-73.3	-80.0	-90.0	-90.0	-93.3	-90.0	-80.0	-63.3

非製造業	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9
売上高	-16.7	-40.0	-26.7	-26.7	-43.4	-56.7	-60.0	-83.3	-83.4	-66.6	-73.4	-53.3	-56.7
収益状況	-16.7	-36.6	-36.7	-26.6	-53.3	-60.0	-56.7	-80.0	-80.0	-73.4	-73.3	-60.0	-56.7
業界の景況	-20.0	-40.0	-36.7	-30.0	-40.0	-56.7	-60.0	-83.3	-83.3	-73.3	-80.0	-63.3	-50.0



■2019年9月期～2020年9月期までの推移

売上高	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9
製造業	-30.0	-40.0	-36.7	-46.7	-60.0	-66.7	-73.3	-90.0	-90.0	-86.7	-86.7	-66.7	-60.0
非製造業	-16.7	-40.0	-26.7	-26.7	-43.4	-56.7	-60.0	-83.3	-83.4	-66.6	-73.4	-53.3	-56.7

収益状況	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9
製造業	-46.7	-43.3	-33.3	-43.4	-56.6	-63.3	-73.3	-80.0	-93.3	-86.7	-83.4	-73.3	-56.7
非製造業	-16.7	-36.6	-36.7	-26.6	-53.3	-60.0	-56.7	-80.0	-80.0	-73.4	-73.3	-60.0	-56.7

業界の景況	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9
製造業	-43.4	-46.7	-50.0	-53.3	-60.0	-73.3	-80.0	-90.0	-90.0	-93.3	-90.0	-80.0	-63.3
非製造業	-20.0	-40.0	-36.7	-30.0	-40.0	-56.7	-60.0	-83.3	-83.3	-73.3	-80.0	-63.3	-50.0

